

安芸高田市の「専教寺」が、国の登録有形文化財（建造物）へ

令和元年7月19日（金）、国の文化審議会（会長 佐藤 信）は、文部科学大臣に対し、次の文化財を文化財保護法第57条の規定により文化財登録原簿に登録するよう、答申を行う予定です。

1 答申予定の文化財建造物

専教寺本堂・専教寺納骨堂・専教寺山門

2 文化財の概要

名称	員数	所在の場所	年代	構造、形式及び大きさ	登録基準
専教寺本堂	1棟	安芸高田市高宮町 ふなきあざびがしふくだ 船木字東福田1506-1	寛政6（1794）年 ／大正2年改修	木造平屋建，銅版葺，建築面積408㎡	二 造形の規範となっているもの
専教寺納骨堂	1棟		昭和中期	木造平屋建，瓦葺，建築面積21㎡	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
専教寺山門	1棟		大正3年	木造，瓦葺，間口3.9m，左右袖塀付	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

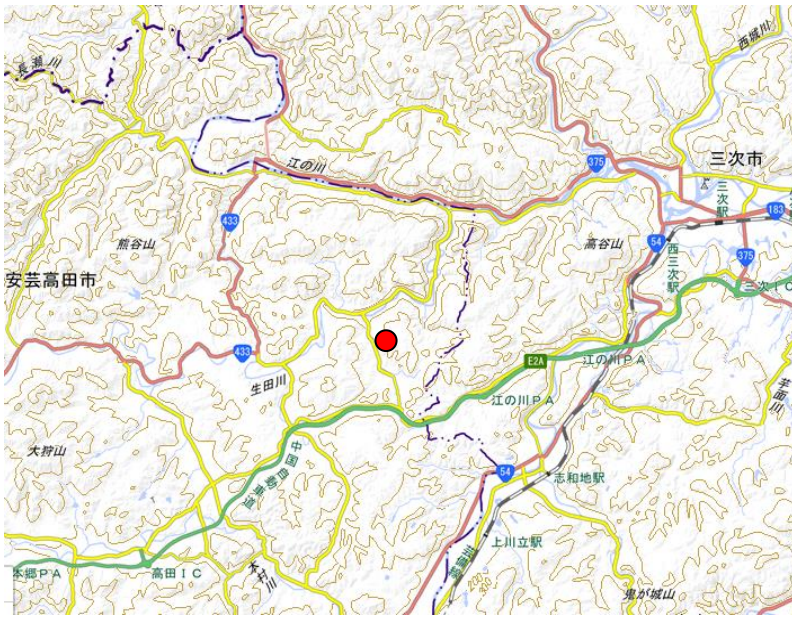
名称	特徴
専教寺本堂	専教寺は安芸高田市北東部に位置する浄土真宗本願寺派の寺院。寛政6（1749）年建立の本堂は、外陣正面柱間7間と大規模で、内部を円柱，側廻りを角柱とし，広い畳敷きの外陣，装飾的な内外陣境，内陣背後の後門など真宗本堂の典型的な平面で，江戸後期真宗本堂の好例。
専教寺納骨堂	納骨堂は，境内北端に南面して建つ，正面三間，側面二間，宝形造り棧瓦葺きで，正面中央に両折棧唐戸と両脇に花頭窓を設け，彫刻欄間を嵌める。内部は畳敷きの一室で，奥に仏像を安置し，均整のとれた外観である。
専教寺山門	大正3年建立の山門は本堂の正面に西面して建つ，切妻造り棧瓦葺きの四脚門で，虹梁，木鼻，大瓶束などを多彩な彫刻で飾るなど，境内の表構えを形成。

※位置図，配置図，写真については，裏面に記載しています。

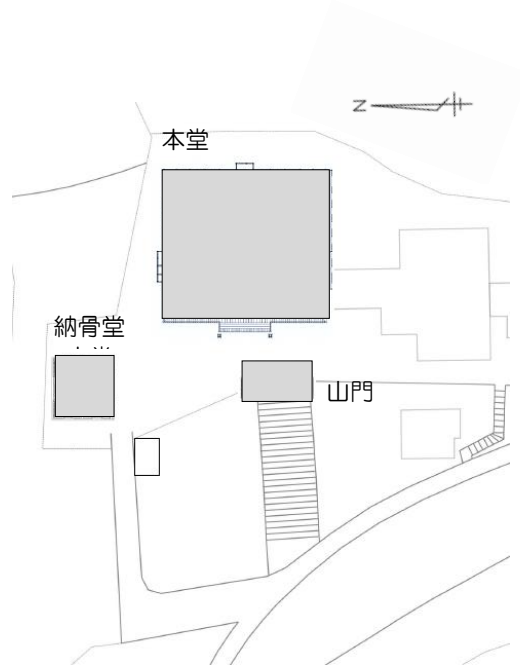
※写真のデジタルデータが必要な場合は，文化財課へ御連絡ください。

3 今後の予定

答申の3～6か月後に，登録原簿に登録予定。



専教寺 位置図



専教寺 配置図



専教寺 本堂



専教寺 納骨堂



専教寺 山門



専教寺 山門

【参考】国指定・県指定文化財等件数一覧

令和元年7月19日現在

国指定文化財			県指定文化財			合計
種別(種類)		件数	種別(種類)		件数	
国宝	建造物	7				7
	絵画	2				2
	工芸品	16				16
	書跡・典籍・古文書	1				1
小計		26				26
重要文化財	建造物	56	重要文化財	建造物	45	101
	絵画	11		絵画	51	62
	彫刻	44		彫刻	92	136
	工芸品	61		工芸品	55	116
	書跡・典籍・古文書	20		書跡・典籍・古文書	51	71
	考古資料	4		考古資料	18	22
	歴史資料	4		歴史資料	4	8
小計		200	小計		316	516
重要無形文化財		0	無形文化財		3	3
重要有形民俗文化財		7	有形民俗文化財		5	12
重要無形民俗文化財		4	無形民俗文化財		67	71
記念物	特別史跡・特別名勝	1	記念物			1
	特別史跡	1				1
	特別名勝	1				1
	特別天然記念物	1				1
	史跡	25		史跡	125	150
	名勝	7		名勝	6	13
	天然記念物	15		天然記念物	116	131
		名勝天然記念物	1	1		
小計		51	小計		248	299
重要伝統的建造物群		3				3
合計		291	合計		639	930
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財						11
選定保存技術						1
登録文化財			登録有形文化財			254
			登録記念物			3

※1 網かけ部分が、今回答申される文化財に関する部分である。

※2 網かけ部分の文化財数には、今回答申される件数（3件）を含む。